

ハローワーク瀬戸 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、求人充足を重点的に推進することとし、求人充足会議において特にフォローアップに注力する求人を厳選し、ミニ面接会の開催、求職者に対する求人情報提供と能動的な来所勧奨による紹介をセットにして進め、管内企業の求人充足はもとより、雇用保険受給者の早期再就職にもつなげるため、初回説明会や失業認定日の職業相談においても、ミニ面接会リーフレットを配付して参加勧奨するなど取組みを進めました。

特にミニ面接会については、開催経験がないながらも年間24回開催を目標とし、試行錯誤しながら目標を大幅に超える30回の開催が実現でき、さらに充足件数も40件と一定の成果を上げることができました。

ミニ面接会の開催については、近隣所にも周知を図り開催を重ねていく中で、小規模面接会のノウハウを蓄積することができ、管内求職者のみならず他所からも参加があるなど、徐々にその知名度も上がっています。

また、参加した求人者からは高評価が寄せられ、人材確保への期待にも応えていく必要があることから、28年度においては定期的な開催を進めています。

これら取組みの相乗効果もあり、求人充足数（常用）は年間目標値1,660件に対し、実績が1,698件となり、県内（出張所を除く）16所のHWのうち、当所のみが充足数の年間目標値達成することができました。

また、求職者に対し、詳細な労働条件の聞き取り（賃金・職種・就労場所・休日・その他を重要度5段階に分別）を実施したことにより、紹介成功率も過去3年間の平均（20.0%）より3.8P高い23.8%まで上昇し、マッチングの精度が上がったことは、就職・充足に寄与しているだけでなく、紹介部門スタッフの自信にもつながっています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人充足会議等で選定した求人票を庁舎入口横の掲示板に1枚ずつ閲覧用として掲示していましたが、1週間の間に数枚の求人票が持ち去られていたため、掲示件数を12社と決め、それぞれ10枚複写してクリアポケットに入れた状態で、「ご自由にお持ちください」と表示して掲示することとし、12社の求人票を自由に持ち帰ることができるよう対応を図りました。

また、限られたスペースであることから、1週間後には新たな12社の求人票へと総入れ替えを行っていますが、求職者が過去に見た求人に関して再確認ができるよう、また、当該求人の充足の促進にもつながるよう、前月分、前前月分のファイルを作り、過去分については、ファイル方式で閲覧できるようにしました。

利用者の待合について、これまでは専門援助部門の前にスペースがなく、職業相談部門の待合椅子を利用していましたが、パンフレットを移動させ、丸椅子を設置することで専門援助部門を利用される方の待合スペースを確保しました。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

ミニ面接会では、面接開始前の時間を活用して、参加求職者に対する集団での事前ガイダンス（面接における自己PRの方法や注意点、就労意欲の喚起、その他面接に臨む助言など）を実施し、さらにマッチングの促進に努めていきます。

また、ミニ面接会のあり方については、年始に大手コンビニの合併により、零細企業(弁当製造)が2社廃業(1月12名、2月13名)、これら離職者の早期支援のため、引続き活躍できるような職種を盛り込んだ求人を選定して開催し、対象者の再就職を支援した経験をもとに、今後は、企業整備による解雇者の再就職や人手不足職種への人材確保に向けた対応についても、その時々的情勢やニーズに臨機応変に対応し、小回りの効くミニ面接会を開催してまいります。

求人票の記載内容・表現については、これまで以上に求職者目線でわかりやすい記述に努めることとし、例えば、事務系求人の経験欄において、パソコンスキルを「初級(数値の入力、ワードでの簡易文書作成程度)」、「中級(エクセルで加減乗除の表作成、グラフ作成、パワーポイント程度)」、「上級(関数の活用や簡単なマクロの作成程度)」と表示するなどの導入を進め、求人者ニーズをしっかりと求人票に反映していくとともに、求職者の応募に係る判断の一助となるよう取組みを進めていきます。

専門援助部門前の待合については、スペースが大変限定されているため、暫時、丸椅子を配置し対応していますが、一方で若年者や健常者の窓口の待合では、背もたれ付の椅子が常設しており、専門援助部門の対象となる障害者や高齢者への配慮が必要であると考えられますので、更なる改善を進めてまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

求職者のうち事務系職種を希望する者が相当数いることから、それらの「就業希望地」を大別し割合を算出したところ、当所管内37%、名古屋東管内21%、名古屋中管内28%となっており、名古屋市内2所を合わせると49%に達し、瀬戸管内を上回っていることから、瀬戸地域の求人条件よりも水準が高く、かつ名古屋市の交通利便性が高い地域への就職を検討している求職者が多いことがわかってきました。

このため、瀬戸方面から比較的アクセスの良い名古屋市中区、中村区、名東区、守山区、長久手市、日進市の求人票を選定してとりまと

め、毎月、事務職の求人情報誌として発行し、事務職への就職促進につなげています。

また、25、26年度のフルタイム・パートタイムに係る月々の就職率・充足率を見たところ、フルタイムの率がパートタイムの率を10P以上上回る（あるいは下回る）月も見られることから、時期や季節によってマッチングに注力する対象を変えるのも一考であると思われます。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

雇用保険受給者の早期再就職支援の取組みのひとつとして、初回認定日において認定のコマ数を1コマ増やして3コマとし、1コマあたりの受給者を分散させることで、認定後、じっくりと中身のある職業相談する時間を確保しました。

これまでは、短時間に凝縮して効率よく失業の認定を行う給付に軸足を置いた業務を行ってきましたので、認定後の職業相談のほとんどが短時間なものに終わっていましたが、改善後は相談時間にやや余裕があることから、応募につながる具体的な相談や情報提供、就職に向けた心境の変化などを把握することもできるようになりました。

また、給付制限中の全員に対し呼出相談を実施し、「来所の際には気になる求人など、就活の材料を必ず1点持参」してもらうよう働きかけを行ってきました。このことによって、給付制限中の職業相談に拡がりが出て、次のステップにつながっていくなど、雇用保険受給者の早期再就職意欲の喚起は確実に進んできたと思われます。

これらにミニ面接会開催などの相乗効果もあって、当所の平成27年度の早期再就職件数は633件と、年度目標を50件近く上回るだけでなく、過去3年間の平均値をも上回ることができました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者の就職 件数	障害者の就 職件数	ハローワー クの職業紹 介により正 規雇用に結 び付いたフリ ーターの就 職件数	正社員就職 者数			
実績	2,258	1,698	633	93.8	96.6	23.8	58	213	298	1,110			
目標	2,298	1,660	584	90.0	90.0	20.0	39	169	244	1,265			
目標達成率	98%	102%	108%			119%	149%	126%	122%	88%			
(参考)過去3年度平均	2,359	1,741	599										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率